

# 生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となられる方のご家族もしくは代理の方にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	ヒトの硬直指数について考える		
1. 研究の目的と方法	ヒトの死亡後には、時間経過とともに全身の関節がコチコチになる死後硬直という現象が生じます。現在までその程度は「強い」、「弱い」といった主観的な表現で表すのが一般的ですが、本研究ではご遺体を横にして頭部が垂れた状態での首の傾き（角度）などから硬直の程度を数値化（本研究では硬直指数と呼んでいます）できないか検討します。硬直指数は、解剖時に撮影された既存の写真から算出し、本研究目的で実際のご遺体に触れることはありません。 筋肉が壊れることによって生じるミオグロビンという物質の血液、尿中の濃度と硬直指数の相関についても合わせて検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2028年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2023年4月1日～2025年3月31日の間に慈恵医大第三病院で法医解剖が実施された方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	血液（血清）、尿	
	(2) 試料の取得の方法	解剖時に採取され、保管されている血液（血清）、尿を使用します	
	(3) 情報の種類	解剖時に撮影された背面の写真、年齢、性別、死亡日・時刻、解剖日、死後経過時間、死亡状況の概要、死因	
	(4) 情報の取得の方法	解剖記録から上記のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 法医学講座
		氏名	岩楯公晴
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 試料・情報の利用開始予定日：2025年11月頃～
<b>【問い合わせ先】</b>	機関名：東京慈恵会医科大学 法医学講座 研究責任者：教授 岩楯公晴（いわだて きみはる） 電話番号：03-3433-1111（内線 2280） 対応時間：平日 10：00 ～ 15：00

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。  
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。